

CREATE
LASTING
IMPACT



入間南ロータリークラブ

2026.7~2027.6

IRUMA-MINAMI WEEKLY

— 持続可能なインパクトを生み出そう —

RI会長：オンラインカ・ハキーム・ババロラ 第2570地区ガバナー：原島 生慈

例会日＊火曜日（12：30～13：30）毎月最終例会日（18：30～19：30）

例会場＊入間第一ホテル 1階 会議室

事務所＊入間市高倉4-4-3 TEL 04 (2966) 1800 FAX 04 (2966) 1888

E-mail：minamirc@ictv.ne.jp

会長：高橋一彰 会長エレクト：寺園 智樹 幹事：近藤 勝美 出席向上・会報・雑誌・R情報委員長：遠藤 好一

7号

第1869回例会

8月25日(火)

当番 西澤 正夫君

■本日のプログラム■

「狭丘祭」

点鐘 12:30 集合 不動院

■8/25の例会のお客様■

原島 生慈様(第2570地区ガバナー)

大河内隆敏様(第3グループ西ガバナー補佐)

太田 雅孝様(第2570地区幹事 秩父RC)

■9/8例会プログラム■

卓 話

京野弘一様(地区RAC委員長 川越RC)



■会長の時間■

高橋一彰会長

宮寺さんようこそ!!入会おめでとうございます。本当に嬉しく思います。これから楽しいロータリーライフと一緒に築いていきましょう。先週はチェコからケティが無事到着し、又、角谷勇迅君がチェコへ無事出発、ホトファミリーと合流したそうです。お見送り・お送り出しを頂いた会員の皆様、本当に有難うございました。ケティの制服等々お金がかかる事から清水部門委員長・近藤幹事が中心になり借りるなどしてなるべくお金をかけない様に努力して頂いております。皆様もご承知おき頂けたらと思いますし、出来る事があれば是非積極的にお手伝いを宜しくお願い致します。本日は原島ガバナーにお越し頂きました。我々の本年度クラブテーマ、～ロータリー活動に誇りを～と原島ガバナーの地区のテーマは全く一緒でございます。この思いが一緒のガバナーとこの場を共有出来るという事が非常に嬉しく有難い事だと思っております。私どものクラブでは、このロータリー活動に誇りを、という部分で、親睦と品格を熟成しそれを実現する、という事で今年度スタートをしていますけれども、今日はその品格についてもう少し皆さんと共有をさせて頂きたいと思ひます。品格とは、その人やものに感じられる気高さ、上品さ、又は品位の事です。表面的なマナーだけでなく、内面からにじみ出る雰囲気や立ち居

振る舞いの全体像を表す言葉です。そしてこの品格を実現する為の明確な考えがロータリーにはあります。それは「超我の奉仕」です。英語では「Service Above Self」と言ひます。直訳すると「自分自身を超える奉仕」です。この言葉を聞くと、自分が犠牲になり尽くさなければならないのか?と感じてしまうかもしれませんが、そうではありません。本質は、自分自身が持っている我儘なエゴを少し横に置き、相手の立場に立って物事を考え行動する、これが「超我の奉仕」の考えです。私たちはどうしてもビジネス、家庭、この様な集まりに於いても自分の得、自分が良くなる事を優先して考えてしまいがちです。けれども全体の為に何が出来るのか、自分はどうか奉仕出来るのか、と切替える心のスイッチ、これが「超我の奉仕」なのです。品格として外見に気をつける事と同時に、内面からにじみ出る品格という部分は、この「超我の奉仕」を追求していく事が非常に重要かと考えます。会員の皆さんと一緒に「超我の奉仕」で色々な活動を通して地域社会と接していく事によって我々が目指す誇れるクラブ、そして品格あるクラブに一歩ずつ近づいていくのでは、と思ひております。是非皆さん、超我の奉仕で頑張ってください。本日は宜しくお祈り致します。

■幹事報告■

近藤勝美幹事

①回覧

- * 9/ 5(土) 狭丘祭(集合不動院 12:30~)
- * 9/ 5(土) 青少年交換学生歓迎会(不動院 18:00~)
- * 9/19(土) ロータークラブ研修会 Part1(本庄早稲田国際センター 16:45~)
- * 9/25(金) 月見家族例会(ホテルメトロポリタン 18:00~)
- * 10/ 5(月) 地区大会記念チャリティゴルフコンパ(平成倶楽部 受付 6:30~)
- * 10/15(月) 旧軽井沢ゴルフ部遠征(入間RCからのお誘い 旧軽井沢GC)
- * 11/ 1(日) ポリテニスリーダーマーチ(東松山森林公園 集合 9:00)
- * 11/12(木)・13(金) 米山梅吉記念館見学旅行
- * 12/ 1(火)~4(金) ローター研究会(リーガロイヤルホテル)

②諸報告

* 次週例会は 9/5(土)狭丘祭(12:30 不動院集合)に振替となります。同日ケティの歓迎会もありますので多数の出席をお願い致します。

■委員会報告■

社会奉仕委員会

~炉辺会合開催について~

本日例会後に炉辺会合を開催致します。御参加を宜しくお願い致します。

青少年奉仕委員会

~9月第1例会について~

9/5(土)不動院にて 12 時半点鐘で 9 月第 1 例会を行います。例会終了後、狭山ヶ丘学園に移動し 13:30~講堂にて IAC の大道芸等を観覧して皆さんで集合写真を撮りたいと思います。多くの皆さんの御参加を宜しくお願い致します。

寺園智樹会長エレクト

粕谷武司委員長

石田徳一委員長

入会式

◆歓迎の言葉◆

この度、貴方は地域内の様々な職業人から選ばれ当クラブのメンバーとなりました。私共全会員は貴方の入会を歓迎致します。一日も早くクラブに解け込み、親睦を深めクラブライフをエンジョイしながら、奉仕活動に取り組んで下さい。貴方が素晴らしいロータリーになる事を期待し、歓迎の言葉と致します。ご入会おめでとうございます。クラブにおける職業分類は電子機器製造業、所属は親睦活動委員会です。



宮寺弘樹新入会員

■卓話■

原島 生慈様



本日は歓待頂き有難うございます。ニコニコにあった「面倒くさい」、いやいや本音だと思います。ローターって面倒くさいです。面倒くさいけど長く続けている方々がいて、世界中で 120 年も続いている団体です。この辺り、何故続くのかわかると面白みも出てくるのだと思います。まず初めに。熊本地震、そして千葉の被害。先日も関東で揺れがありました。亡くなられた方、そして被災されている皆さんがいらっしゃいます。お悔やみとお見舞いを申し上げます。第 2720 地区熊本の同期がバナー、延岡がバナーから被災状況が酷いので、ロータリーで少しでも支援してもらえないかという FAX が届きました。そこで第 2570 地区全クラブに無理のない所での支援をお願いした所、募金が集まりました。約 200 万を送金予定です。各クラブの皆さんの奉仕、先程会長からもあった「超私の奉仕」でのご寄付を本当に有難うございました。私は事業所を 3 つ程経営しておりメインは保険代理店です。ローター歴は秩父 RC に 2006 年入会。13・14 年度でクラブ幹事、18・19 年度でクラブ会長、その後地区にて 21・22 年度に公共インフラ委員長、23・24 年度で第 4 グループガバナー補佐、24・25 年度で増強委員長でした。貴クラブへは増強委員長時にお邪魔し、大河内補佐を口説く際に伺ったという関わりです。こちらは地区テーマバグです。秩父 RC の例会場は秩父神社です。秩父神社は 1400 年程続く歴史ある神社で本殿に三猿があります。三猿は日光東照宮同様左甚五郎作です。東照宮の猿は「見ざる聞かざる言わざる」ですが、秩父神社に奉納されているものは「よく見て・よく聞き・よく話す」と真逆です。そして右側の梟は北辰の梟と言い知恵の梟です。これをテーマに致しました。次に RI 会長(ライオン・ハキム・ババロ会長)についてです。ナイジェアのトランスアマディ RC 所属でエンジニアとして石油・ガス業界のリーダーです。ローターアクトとして若い頃から活動され RI 会長迄上がったという経歴です。アフリカから RI 会長が出たのは初めてです。ガバナーになるとガバナー研修に行きます。今年 1/10~10 日間、フロリダオーランドで缶詰め研修を受けました。世界中のガバナーエレクトが集います。大変大きなホテルで、18 ホール(ホテル付属のゴルフ場)が目前の川向こうに広がっていました。1 回位出来るかと思ったら、ゴルフハウスにも近づけない程の大忙し。どうしても悔しくて仲間で次年度ガバナー研修中にゴルフだけやろうかと目論んでいました。只、研修中の 10 日間ほぼ食事が喉を通らずおかしいと思い帰ってきて調べたら食道癌でした。6/11 に食道を全摘し退院したばかりで聞きづらい事があるかもしれませんがご容赦頂きたいと思います。皆さんから多くのお見舞い・励ましの言葉を頂き有難うございました。さて、ババロ会長の今年のテーマは「持続可能なインパクトを生み出そう」「Create lasting impact」です。一時的な変化ではなく、社会・地域社会・世界。そして私たち自身の中で持続可能な良い変化を起こし続ける事。ビジョンを実現する為、内なる変化を解き放つ事が求められています。10 日間、事ある度に会長の言葉を同時通訳で聞きながら、とにかく強調していたのはこの「持続可能」という所で

す。ローターは単年度制です。長い歴史の中で単年度の良さがありました。経済が発展し世界が変わっていく中、その時々 RI 会長が 1 年でやりたい事を、持ち帰ったガバナーも同様に、地区でやりたい事を実践し、お金も会員も潤沢にありました。時代の流れもゆっくりで、単年度で成功も失敗も終わる良さがありました。ところが今や時代の流れは早く、会員数も減少。こういう中でローターが花火を打ち上げ「良かったね」で終わりで良いのか?そして「3-Year Rolling Targets」が出てきました。地区にも、各クラブにも 3 年間かけてどの様にしたら良いかを話し合ってもらいたいのです。単年度の弊害をなくそう!「持続可能なイパ外を生み出そう」という事です。「変革は戦略から始まるのではない、自分自身の中から始まる」ババロア会長は内面を非常に大切にされており、ローターは外からより内面から変わっていかない限り変わらないと仰っています。貴クラブ年度計画書にはババロア会長の思いが細かく書かれており、体験談も載っています。ババロア会長の思いがわかると、1 年間の行動指針になるかと思えます。といっても後 11 ヶ月。あっという間に過ぎていきます。メッセージを具体的に申し上げますと、**1.ローターによる自己変革、2.「入ってよかった」の共有、3.変化をイパ外へ、**です。1 つめ。仕事・ビジネス・家族、そして私たち自身をより良く形づくってくれた原体験を大切に。自己変革、内面から変わっていく事を大切にしませんか。2 つめ。ポジティブな体験、「入ってよかった」体験が、退会防止や会員増強を推進する最大の原動力になるのではないかと思います。3 つめ。変化は始まりに過ぎない。成果を未来に残る価値へと昇華させる事が重要。変わっていく事はスタートで、それを未来に残す持続可能な価値へと高めていくという事です。勿論単年度の早くやらなければならない所もありますから、私はババロア会長の方針を絞り込みました。**・ポリ根絶・平和の推進・クラブの活性化・確かな奉仕**です。ポリ根絶について必ずこう言われます。「まだそんな事言っているのか」「何故 RI はポリ根絶なのか、日本にはもうない、遠すぎる」と。ガバナー研修では様々な所で研修を受けます。横浜に R 財団会長が来てポリ撲滅に何故ローターがここ迄力を入れるのかをビデオを見つつ説明を受けました。私は昭和 35 年生まれです。同学年に小児麻痺の子はいませんでしたか?私はいました。その小児麻痺だった子はまだ元気に生きています。1965 年の白黒映像だったと思います。若いお母さんが足の立たなくなった自分の子どもを病院に担いで行き先生と話している映像です。小児麻痺だね、治らないよと。涙ポロポロでした。ポリとは小児麻痺の事です、これをなくしたのは実はローターでローターが始めた事なのです。ポリを世界中でなくそう!という壮大な計画を立て、以来何十年もやっています。そんなに遠い事ではない、というのが私の感覚です。3 年前尾身先生がお越しになった時、ポリ(自然株)をなくす事は出来ないけれど、発症率を 0 にする事は出来る。ワチンを打てば良いと。これを目指しているのです。後数ヶ国。かなり達成しているのですが、まだ完全に発症を抑えられていないのが現状です。ババロア会長がアフリカという事もあるからかもしれ

ませんが、現在ポリプラスと言いその他のワチンも併せて打ちながらやっております、発症を抑える迄やり遂げたいと仰っています。皆さんに伝えたいのは、ポリを理解して頂ければ結構です、という事です。少なくともローターがこれを始めて日本にはなくなった!という事。RI がやっている事に関して、地区でもスリーマーズでポリ撲滅キャンペーンをやろうとか、財団も一生懸命やっていますが、理解だけして下さい。否定しなければ結構です。「そんなの知るか」「遠すぎる」ではなく、メンバーがやっている事に対してご理解頂くだけで、「何をやっているの?」と聞かれた時に説明して頂くだけで随分変わると思えます。一人ひとりの意識の違いだけで変わっていく事をご理解頂きたく、真っ先にポリ根絶を入れておきました。2 つめ。平和の推進についてですが今が旬です。トランプ政権のイシとの戦争、ガザ、ロシアとウクライナ。次々と紛争が起きています。ローターが世界をかえる程の力がある訳ではありませんが、奉仕活動は草の根運動。間違いなくその地域で助かっている人たちが沢山います。驚く程ローターは静かな力を持っています。ローター平和センターという施設が世界中に 8 つあります。日本にも ICU 大学(三鷹)にあります。ローターがお金を出し、そこで平和について、地域紛争をなくすには、交渉術とは等々を勉強している学生を育てています。ローターは今後この辺りに少し力を入れていくのだろーと思えます。いずれにせよポリ根絶と平和の推進の 2 つは我々から確かに距離は遠いかも知れませんが、只、ローターはそういう事をやっています。**クラブの活性化と確かな奉仕**はババロア会長が強調事項としている、我々が推進しなければならない部分です。多様な人々が歓迎される温かい場所としてのクラブづくりが重要です。先程の新入会員懇談時、「このクラブだったらずっと続けたいと思う」「会長幹事がいたから、大河内さんがいたから続ける事が出来た」と伺いました。貴クラブは温かい場所なのでしょう。これがクラブ活性化の一番の根本だと思います。そして確かな奉仕。数よりも長期的持続的な変化を重視する事です。何かをやるその瞬間は良いのですが、重要なのは、入間南 RC が様々な奉仕を繋げ、この地域になくてはならない存在になっていく事、特に次世代を育てるという部分が素晴らしいと思います。短期間では出来ない話です。長い間かけてしっかりと奉仕を続ける。これは RI の強調事項とも合致します。ここ迄が RI の方針です。次に地区の方針についてです。本当にたまたま私のテーマと貴クラブが一緒だという所、非常に心強く思っております。活動方針として、クラブが地域になくてはならない存在となる事、ここ迄持ち上げたいのです。実際、入間地区では貴クラブの良さ、入間 RC の良さ、隣の狭山では新狭山、狭山中央さんなど其々地域になくてはならない存在となりつつあります。いてもらわなければ困る!というご意見も頂いています。そういう中での方針が「ローター活動に誇りを!」です。世界中のローターンが持つみなぎる活力の源は、自らの活動に対する確固たる誇りにあります。日々の小さな奉仕から大きなプロジェクト迄、その全てに誇りを持ちましょう!という



地区テーマハッッ

のが私の思いです。私自身入会して 21 年経ち、そしてもっともっと大先輩の方々がいらっしゃいます。何故それ程長い間続けてられるのか。50 年会員でいれば会費だけでも凄い金額です。どれ程の時間を割きローター活動をしているのか。そこには理由があると思います。ご本人たちは誇りを持っているのだと思うのです。そうでなかったらやっつけません。ローターの研修でも感じるのですが、外国のガバナーに聞くと元気があります。特に若い人・発展途上国の方。私がそばにいたのはインドネシア、インドの方でしたが、自分のローター活動をととても熱く語ります。何故こんなに熱く話すのだろうと思うと多分それが楽しいのです。自分の時間を作り、その喜びを持ち、誇りを持っているのだと思います。そうでなければあれ程熱く語れません。誇りを持って頂く。これは会員増強にも繋がりますし、ご自身が何か思った時に前向きになれるのではないかと思います。クラブ協議会で発表頂きたいのは、先輩方がローターに対して誇りを持てる事がどんな事なのか、余り聞く機会がないですよ?!それを皆で共有出来たら良いなど。私は当然妊を持ち帰り、名前は出しますが、他クラブでこういう誇りを持っている人がいたという事をお知らせしたいと思います。クラブ活動の革新として 4 つ、①魅力あるクラブの進化②ローターブランドの確立③ボランティア根絶ラストパート④次世代育成と絆、です。魅力あるクラブの進化として、退会したくならない居心地の良いクラブの追求、DEI、多様性、公平さ、開放性を推進し、若いプロフェッショナルを引きつける運営へとアップデートします。こういう形でクラブが進化していかなければいけません。私の持論ですが会社も含めて現状維持は衰退です。これだけ時代の変化が激しい中で、ローターが変えてはいけない部分はありますが、意固地になって残そうとするものが、本当に時代に即しているかを考え進化させないと、恐らく衰退してしまうでしょう。新入会員との懇談でも伝えましたが、クラブはクラブが自治権を持っており、クラブが決めなければいけません。私がこうしろああしろと言う権限もありません。でも伝える事は出来ます。クラブ中で DEI があって当たり前だと思っています。だから地区組織に私の年度は入れませんでした。あって当然だと思うからです。それから若いプロフェッショナルという事で、職業奉仕にも通じます。職業奉仕は昔と今は違います。四つのテストを皆さん謳いましたが、あれは元々職業倫理の中から出てきた発想です。それがまだ通用するかどうかは、今持っているスキルをどれだけ地域にローターとして発

信出来るかにかかっています。2 つ目はローターブランドの確立です。奉仕活動の価値を広く発信し、地元の潜在的ニーズに寄り添い、インパクトを可視化する事で地域に不可欠な団体としての存在感を高めます。正にこれがローターブランドです。「ローターさん有難うございます」と言われたら良いですよ! 私がバッジをつけて歩いていて「なんだよローターかよ」と言われるのは嫌です。これからのクラブ活動の核心の一つに置いて頂きたいと思います。3 つ目のボランティア根絶のラストパートについては先程お話しした通りです。4 つ目、次世代育成と絆です。青少年奉仕や RIJYEM(ライジエム)を通じて未来のリーダーを育成する。ローターアウトや学友を含むローターファミリーの連携を深め絆を繋ぎます。これは既に貴クラブが行っているそのままだと思います。スポーツの世界、ゴルフの世界、何でもそうですが、裾野が広がっていかなければ活性化しません。次世代を育成しなければ衰退してしまいます。貴クラブは既にそういうマインドも持っていいらっしゃるの、ガバナーとして非常に期待申し上げています。地区の運営という意味で、新体制第 2570 地区は 9 グループ制に変えました。ご批判も頂きました。輪番でやっている所は補佐の回る頻度が増える、という事です。いやいやちょっと待って下さい。大体輪番がおかしいのです。ガバナー補佐はもう分区代理ではありません。ガバナー補佐なので、ガバナーが選任権を持っています。ガバナーの専権事項です。ですから先に補佐予定者がガバナーエレクトに次ガバナー補佐になります、と挨拶するのは違和感があります。昔ながらが残っています。例えば、隣の地区からこの地区の補佐をやっても良いし全然アリなのです。補佐は分区の代理ではなくガバナーを補佐する役目なのです。細分化した大きな理由は、補佐はローター研修にも出ていますが、4~6 クラブを面倒見なさい、が補佐の役割です。今迄 10 以上ありました。年 4 回クラブを回ると、10 クラブ×4 で年間 40 回です!これは無理です。それよりも補佐に各クラブが遠慮なく相談し、補佐がきちんと聞いて橋渡しする。その為にももう少し細かく分けた方が良いのではないかと、が出发点でした。補佐が回って来てクラブ内で支援するのは大変だとよく分かります。只、組織の中の一つの役割でしかありません。私は何時迄も秩父 RC の会員である事に変わりはなく、地区でやれるかどうかは私の時間の都合だけです。これをきちんと分かってくれさえすれば、クラブの絶大な応援がなくても出来るのではないかと考えました。実際にはそんなに甘くありませんし、クラブの応援があつてこそ補佐が出来るのが実情ですが、何とかクリア出来るのではないかと分けて頂きました。そして地区はクラブの為に存在するという事です。地区は勝手に動かずクラブの為に存在しなければなりません。グループ内の親睦交流を促進、活性化を支援し、各地域の特色を生かした柔軟なコミュニケーション。こういう形で進んでいきたいが為に分けてしました。今年は地区内 40 クラブとなり会員はまだ減少傾向にあります。何とか皆さんの力で会員増強しながら盛り返したいと思っています。最後に。奉仕

**CREATE
LASTING
IMPACT**

- ◇太田 雅孝君：本日原島がバナー・大河内がバナー補佐・太田 3 名宜しくお願い致します。
- ◇高橋 一彰君：本日は原島がバナー・大河内がバナー補佐・太田幹事ようこそ入間南 RC へお出で下さいました。本日は宜しくお願い致します。宮寺さん入会おめでとうございます！
- ◇近藤君・寺園君：〃。
- ◇遠藤 好一君：原島がバナー本日はようこそいらっしゃいました。1 年間宜しくお願いします。
- ◇不破君・小林(昌)君・石川君・齊藤(定)君・齋藤(良)君・大野君・粕谷君・石田君：〃。
- ◇齋藤(治)君・鈴木君：〃。早退します。
- ◇内村 良一君：〃。先日孫が誕生しました。これで孫 4 人のジイジとなりました。
- ◇西澤 正夫君：先週の金・土・日と鳥取県で開催された第 56 回全国中学校相撲選手権大会に埼玉県を代表して黒須中相撲部が出場して来ました。全選手検討した結果、ベスト 16 迄頑張ってくれました。皆様のご声援に感謝申し上げます。
- ◇幡谷 玄秀君：お盆が終わってホッとしたらローターの公式例会。アアめんどくさい。家ではまだセミが鳴いています。ユズはまだ青い。もう少し先です。